

あ 翔

あめつちほしそらやまかはみねたに
くもきりむろこけひといぬうへすゑ
アメツチホシソラヤマカハミネタニ
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上木
安以宇衣於加幾久計己左之寸世曾太
●○ABCDEFGHIJKabcdefghijklmnopqrstuvwxyz0123456789.,!?*

300 / 48H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発
上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり
発車の笛を待っていた。どうに電燈のつ
いた客車の中には、珍らしく私の外に一人
も乗客はいなかった。外を覗くと、うす暗
いプラットフォームにも、今日は珍しく見
送りの人影さえ跡を絶って、唯、檻に入れ
られた小犬が一匹、時々悲し

220 / 36H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発
上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり
発車の笛を待っていた。どうに電燈のつ
いた客車の中には、珍らしく私の外に一人
も乗客はいなかった。外を覗くと、うす暗
いプラットフォームにも、今日は珍しく見
送りの人影さえ跡を絶って、唯、檻に入れ
られた小犬が一匹、時々悲し

160 / 24H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発
上り二等客車の隅に腰を下して、ぼんやり
発車の笛を待っていた。どうに電燈のつ
いた客車の中には、珍らしく私の外に一人
も乗客はいなかった。外を覗くと、うす暗
いプラットフォームにも、今日は珍しく見
送りの人影さえ跡を絶って、唯、檻に入れ
られた小犬が一匹、時々悲し

280 / 36H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀
発上り二等客車の隅に腰を下して、
ぼんやり発車の笛を待っていた。ど

200 / 28H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等
客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待っ
ていた。どうに電燈のついた客車の中には、珍ら
しく私の外に一人も乗客はいなかった。外を覗く
と、うす暗いプラットフォームにも、今日は珍し
く見送りの人影さえ跡を絶って、唯、檻に入れら

160 / 24H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客車の隅
に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待っていた。どうに電
燈のついた客車の中には、珍らしく私の外に一人も乗客は
いなかった。外を覗くと、うす暗いプラットフォームにも、